



発行人 公益財団法人 愛媛県消防協会 松山市築山町1番35号 電話(921)8517番 会長 大西 浩司 一部53円

年頭の辞



公益財団法人 愛媛県消防協会 会長 大西 浩司

令和4年の輝かしい新春を迎えるにあたり、平素から地域防災に御尽力いただいております会員各位をはじめ、消防関係者の皆様にご挨拶を申し上げます。また、年末のお忙しい中、県民の皆様のご安全・安心を守るため、警戒にあたられた消防団員と消防職員の皆様の御苦勞に對しまして、心から感謝を申し上げます。

さて、令和3年を顧みますと新型コロナウイルスの感染拡大により、全国の広い地域に緊急事態宣言や、まん延防止等重点措置が出され、色々の会議やイベントが中止となりました。年末には、感染状況が落ち着きを見せていたが、新年を迎え、国外でオミクロン株の感染が拡大し、国内でも感染状況は各地で一気に悪化しました。引き続き油断、慢心することなく感染防止対策を徹底する必要があります。

また、災害に對しましては、幸いにも愛媛県では大きな被害はありませんでしたが、全国では、梅雨前線の影響による大雨で7月3日に静岡



愛媛県知事 中村 時広

平素、消防関係者の皆様方におかれましては、消火、救急、救助はもとより、地域防災の中核的存在として、住民の尊い生命と貴重な財産を守るため、日夜献身的に活動されており、深く敬意と感謝の意を表します。

また、新型コロナウイルスの感染拡大が長期間にわたり続く中、消防職員の皆様には、感染防止に細心の注意を払いながら、救急搬送等に尽力されまるとともに、消防団員の皆様方におかれましては、感染回避に取組まれた上で活動を継続いただいております。厚くお礼申し上げます。

現在、県では、市町や医療機関等との緊密な連携の下、感染拡大防止に全力を挙げるとともに、長引くコロナ禍で大きなダメージを受けている地域経済の立て直しに力を注ぐなど、県民の皆さんの命と暮らしを守

本年も 宜しく お願いいたします



県熱海市土石流災害が発生し、10月には岩手県沖や千葉県北部で震度5強の地震が相次いで発生し、多くの負傷者と交通網の混乱を招きました。この他にも消火活動が長期間に及んだ大規模倉庫火災や、避難が難しい繁華街のビル火災により大きな被害が出ています。

近年の災害は、このように多発化、激甚化する傾向にあって、消防への期待や負担が大きくなっています。地域防災の中核を担う消防団の団員減少には歯止めがかからず、全国では3年連続で1万人ずつ減少するという危機的状況に陥っています。

こうした中、当協会では、消防団を県民の皆様幅広く知ってもらい、消防団活動への協力や、消防団へ入るきっかけ作りのため、未だの消防団加入促進事業で高校を訪問し、消防団活動のやりがいや重要性を高校生に説明しています。また、豪雨災害や南海トラフ巨大地震などの備えとして、東予、中予、南予のブロックごとに消防団合同訓練を実施するなど、県民の皆様への幸をなす生活づくりのお手伝いをする活動をしています。

今後も県内消防の強化を図り、婦人防火クラブ、自主防災組織などの民間防火防災組織をはじめとする皆様のご理解とご協力を得ながら、更なる精進をして参る所存ですので、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新型コロナウイルス感染症が一刻も早く収束し、本年が災害のない平穏な年でありまるとともに、皆様の益々の御健勝と御多幸を心より祈念いたしまして、年頭の御挨拶とさせていただきます。

各種対策を進めているところです。更に、コロナ対策と並行して、近い将来発生が危惧されている南海トラフ地震や、激甚化・頻発化している風水害をはじめとした自然災害に備えるため、河川や道路、砂防堰堤等の公共土木施設の整備に取り組んでいるほか、迅速な避難につながる情報収集・伝達体制の強化や、自主防災組織の活性化とその活動の核となる防災士の養成に力を注ぐなど、ハード・ソフトの両面にわたる防災・減災対策を推進しています。

加えて、発災時の初動対応において重要な役割を果たす消防団活動についても、基本団員の確保はもとより、機能的・女性団員の加入促進など、引き続き、貴協会をはじめ、市町や消防機関等と連携をしながら充実を図り、「オール愛媛」で地域防災力を高めていきたいと考えております。

どうか皆様方におかれましては、今後とも、心身の鍛錬や技術の錬磨に精進され、消防への住民の期待と信頼にこたえていただき、県民が安全・安心で快適に暮らすことが出来る「愛媛あふれる愛媛づくり」に一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。終わりに、公益財団法人愛媛県消防協会のますますの御発展と、皆様方の今年一年の御健勝、御多幸を祈念申し上げます。



愛媛県消防長 中矢 洋造

令和4年の輝かしい新春を迎え、県内の消防関係者の皆様にご挨拶を申し上げます。皆様方には、日頃から地域の安全・安心を確保するため、昼夜を分かたず、また感染症が拡大するなか、ご自身やご家族への感染危険を抱えながらの消防・防災活動にご尽力いただきましてことに、深く敬意を表しますとともに心から感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、7月には静岡県熱海市で大雨による土石流で甚大な被害がもたらされました。

本県でも、8月には台風や前線による記録的な大雨を経験しましたが、激甚化・広域化する近年の自然災害には、消防団を中核とした地域防災力の必要性を痛感したところですので、加えて、今後発生が懸念される南海トラフ巨大地震などの大規模災害に對するためには、地元の



公益財団法人 日本消防協会 会長 秋本 敏文

「新年おめでとう」



守る消防団、自主防災組織、女性防火クラブなどの消防関係機関に加え、各消防本部や応援部隊である緊急消防援助隊などによる市町村の枠組みを越えた災害対応が求められます。

このような中、愛媛県消防長会では、緊急消防援助隊の充実・強化のために総務省消防庁から貸与された消防車両等を活用し、土砂・風水害対応訓練を行うなど、県内各消防本部の職員のスキルアップと救助技術の共有を図っています。また、女性消防吏員の活躍推進のため、女性の採用促進に向けた活動や、みんなが働きやすい職場環境作りを行うなど、時代のニーズを的確に捉え、県内消防の更なるレベルアップに取り組んでいます。

「新しい生活様式」はすでに社会常識となりつつあり、様々な価値観やライフスタイルの変化が起りましたが、「住民の命を守る」という消防の最大の目的は変わりありません。今後とも消防関係者の皆様には一層のご協力とご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が明るく平穏な年となりますよう、また、貴協会の益々のご発展と消防関係者の皆様方のご健勝・ご活躍を心からお祈り申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。

明けましておめでとうございます。とは申しながら、新年早々から新型コロナウイルスの感染拡大が見られ、近年は思いがけない災害多発が続いていますので、手放しでおめでとございますと申し上げるのは、むしろ控えるべきではないかという位の気持ちになってしまいます。でも、とに角、愛媛県下の無事平穏、愛媛県消防の皆様のご多幸をお祈り申し上げるといふ気持ちをこめて、おめでと

うといふごあいさつをさせていただきます。私は、今年の新年のごあいさつでは、「地球規模の変化のなか、ピンポイント災害への対応も」と申し上げさせて頂いています。近年の災害の様相変化は、日本だけではありません。昨年末には、季節はずれの大型トルネード(竜巻)がアメリカで発生し、フィリピンで大型台風が発生し、それぞれ大変な被害がありました。日本でも、これまでとは異なるコースの台風があり、線状降水帯といわれる局地的な大雨等がありました。愛媛県でも、肱川上流の大雨で大きな被害がありました。私も現地にかがわ

せて頂いた、言葉を失う思いでした。このような災害の様相変化は、地球規模のいろいろな環境変化が背景にあるという見方があり、私たちもそのような広い視野をもちながら、他人事ではない思いで注目していなければならないでしょう。

こうした災害で、広域にわたる大規模な被害発生もありませんが、特定の地域での、ピンポイントの被害発生もありません。消防の立場からは、そのような各地域の被害発生状況をよく研究し、自分たちの地域ではどのようなことがあり得るかを平時から考え、必要な防災基盤の整備を進め、非常時には、早期避難など必要な行動を実行できるようにしておかなければならないでしょう。そして、それは地域の社会的状況に応じたものでなければなりませんし、地域の皆さんの総参加活躍が必要です。防災の原点は、まさに「地域」です。そう考えますと、地域の中核的な役割を果たす消防団の存在は益々重要で

災害だけでなく、社会の状況も変化していますが、これらの変化を正面から受けとめながら、地域の安全をより確かなものにするよう行動するには、大変なご苦勞が伴うかと思っております。私たちが、微力ではありますが新しい日本消防会館の活用などを含めて努力してまいります。愛媛県消防の皆様、今年も無事に、お元気に、地域の安全確保にご活躍頂きますよう、よろしくお祈りいたします。今年の無事平穏をお祈り申し上げます。

愛媛県消防大会ならびに正副団長消防長等研修会

実施日 令和3年11月4日(木)
場 所 愛媛県民文化会館サブホール

愛媛県議会議長、愛媛県警察本部長をはじめ、ご来賓の皆様のご臨席を賜り、愛媛県下の消防・防災関係者の参加を得て、愛媛県消防大会が開催されました。

表彰では、大洲市消防団に愛媛県消防協会長から表彰状並びに表彰旗が授与、桑原地区女性防火クラブに愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会長から表彰状並びに記念品が授与されました。

意見・体験発表では、第44回全国消防職員意見発表会で入賞された松山市消防局 畝本良汰さんによる「世界一安全・安心のお接待を」、遊子川女性防火クラブ 矢野みつ子さんによる「地域に寄り添うクラブとして」が発表されました。

ひきつづき、正副団長消防長等研修会が行われ、若手消防団員意見発表では、八幡浜市消防団・鈴木敬典さん「地域そして命を守るために」、四国中央市消防団・眞鍋康雄さん「地域防災」、伊予市消防団・田頭孝志さん「予想できない異常気象から命を守るために私たちができること」各々の意見が発表されました。最優秀に選ばれた田頭さんには、令和4年2月に実施される「全国消防団員意見発表会」に参加いただく予定です。

また、大洲市消防団女性分団によるリスクウォッチ「自分で自分の身を守る」アメリカ式の積極的な危機管理教育を披露していただきました。火災に遭遇した場合、自分でどう対処すればいいかを知り、被害を最小限に抑えること。大人に守ってもらうだけでなく、災害時に行動できる子どもの育成を目指すものです。日本の防災教育でも取り入れられるところがあるのではないのでしょうか。参考にしていただきたいところです。



正副団長消防長等研修会



愛媛県消防大会

消防団員指導員研修会

実施日 令和3年10月23日(土) ~ 24日(日)
場 所 愛媛県消防学校

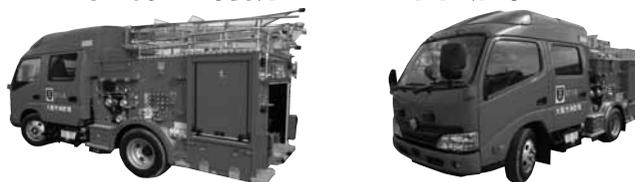
新型コロナウイルス感染症収束のめどが立ちにくい中ではありましたが、愛媛県消防学校のみなさまのご協力により、今年も1泊2日の研修会を実施することができました。

3密を回避しながらの研修で、物足りなさはあったと思われませんが、災害情報の収集や伝達、現場指揮・安全管理、訓練礼式などについて、知識や技術の再確認をする研修となりました。

研修生からは、実践的科目が良かった。実技を伴う訓練が良かった。人命、被害拡大、作業危険等、情報の重要性を知ることができた。伝達の難しさがわかった、トランシーバーの使い方など普段やらないことを教えてもらったので良かったなどの感想や、近年、火災が少ないので若手団員の出勤がなく、技能が心配です。訓練の機会を多くして欲しい、という昨今の課題を指摘する声が寄せられました。



<http://www.ogawa-pump.co.jp>
OGAWA 仕様 消防ポンプ自動車(Made In 愛媛)



豊富な収納力が1台2役分の活躍を。
多くの資機材を積み込みながらも、初期消火に力を発揮する水槽を搭載。
コンパクトにまとめあげたCD-I

小川ポンプ工業株式会社
愛媛支社

〒790-0045 松山市余戸中6丁目9番52号
TEL: 089-972-2392 FAX: 089-972-2400
E-mail: ehime@ogawa-pump.co.jp

災害に強いまちづくりをお手伝いします

家庭用からプロ仕様まで
消防・防災の専門商社

- ◎消防ポンプ自動車
- ◎消防ホース
- ◎防災・救助機器
- ◎避難用品
- ◎小型動力ポンプ
- ◎消防被服
- ◎消火器・消火装置
- ◎自主防災・企業防災用品



人と地球のいのちを守る
MORITA
新基準による
消防ポンプ自動車No.1メーカー



新基準活動服
新基準による
消防団員活動服



SHIBaura
消防ポンプ・防災機器
シバウラ可搬消防ポンプ



ジェットホース
操法大会最適ホース
コンベVシリーズ

(株) 岩本商会 〒790-0067 松山市大手町1丁目10番地1

Tel.089(947)2111 Fax.089(947)2116
高松支店 / 宇和島営業所 / 姫原倉庫 <http://www.iwamotosyukai.co.jp>

	各種消防ポンプ車 救急車 高度医療機器 販売		防災用品 各種消火設備 販売
	消防防災設備 給排水設備 設計・施工・保守		
新日本			
ライツ			
テック			
日本機械工業株式会社代理店		ヤマトプロテック株式会社代理店	
http://www.sn-ll.com			
南予営業所 〒796-0201 愛媛県八幡浜市保内町川之石1-237-130 tel.0894-36-3322 fax.0894-36-3323	本社 〒790-0054 愛媛県松山市空港通2丁目18番32号 tel.089-908-5766 fax.089-908-5767		

女性消防団員確保対策事業

日時：令和3年12月12日(日) 10:30～13:30
 場所：愛媛県消防学校(大教室および屋内訓練所)
 講師：愛媛県消防学校 池川 慧 教官
 参加者：12市町38名(市町随行者3名)

「グループワーク」

①女性消防団員として、今感じていること・思うことを共有しましょう！
 ・女性団員の認知度が低く、同じ団でも存在を知られていないと感じることがある。大半の人は、消防団＝男性団員のイメージ。
 ・女性団員の中でやる人とやらない人の間に活動差がある。
 ・女性団員の位置づけが、男性団員→自主防災組織・防災士→女性団員と低い。他機関、例えば行政や自主防災組織との連携を強める必要性があると感じる。

・今日も入団歴が様々なメンバーが集合している。発足当時から活動している人もいれば、大学生、最近入団したかたなど様々。どの団も今後、若い人材をどうやって確保していくのかという課題がある。
 ・女性団員を積極的に団活動の一員として活用し、活躍させられている！と実感しているところとそうでないところがある。
 ・平成30年7月豪雨で活動された団員さんからは、物資の仕分けの大変さを聞いた。リアルな話を聞く機会があり良かった。

・同じ女性団員でも本部付けと女性分団と立場が違うなど、地域によって求められているものが違う。
 ・女性団員は救命講習、独居老人訪問など予防がメインだが、これも大切な活動。
 ・6班に分かれ、大半が初対面の人ののですが、みなさん、志がありコミュニケーション能力が高いので、あっという間に打ち解けていました。日頃の悩みを吐き出し共感したり、他市町の団活動の聞き、ノートに書き記したり、ときおり楽しそうな笑い声が聞こえたりと30分では足りないほど、熱いトークが交わされました。

②災害を生き抜くための正解のない問い
 《地震が発生しました》
 平日の13時に大規模災害が発生しました。夫は仕事で、子どもは学校です。
 ↓女性消防団員として活動を開始しますか？
 《ここは避難所です》
 避難所にペットを連れて避難してきた老人がいます。(子犬である・しつけはできている)
 ↓ペットを屋内にいられますか？



《ここは避難所です》
 この避難所には100名の避難者がいます。(高齢者30名、大人40名、子ども30名)
 けれど、非常食は50食分しかありません。
 ↓非常食を配布する？
 各問に対して、自分ならどうするか考えをまとめたのち、グループでディスカッションしました。
 「災害現場に正解はない」今集まっているメンバーで最適な答えを出し対応していかなければなりません。
 グループの答えがまとまらないこともありましたが、まずは、各々が考えを述べられる環境があることが大事だと感じました。トップダウンで物事を決定していくことも多いですが、いろいろな人が集まる場所でも多様性を無視すると、公平性はなくなります。避難所は、高いコミュニケーション力が必要な場所であると感じました。

「避難所で女性ができること」について掘り下げていきたい！という参加者の意見もありましたので、今後の研修に取り入れていきたいと考えています。

「実技講習」

- ・三角巾の利用方法
- ・AED使用方法
- ・搬送要領

3つのグループに分かれ、ロールプレイをしながら情報共有をしました。参加者の中には、市町での救命講習指導をしたことのある女性団員もいれば、救命講習の指導やサポートに参加したことのない女性団員もおり、互いに刺激をうけた実技講習となりました。

「どうすれば女性消防団員が増えるのか不明」という現状と、コロナ禍のダブルパンチで、実際に活動できない時間が続いています。令和2年から実施している愛媛県全体での女性研修会ですが、研修会の回数を重ねることで、見えてきたことは、関係機関それぞれの情報を共有することが、効果的な事業に発展させるカギになるということです。

研修会に参加し受けた刺激を、市町での活動へのモチベーションにしたいだけ、女性団員さん同士で情報共有していただき、市町の担当者や消防団幹部ともミーティングできる機会が設けられることを期待します。

全体で取り組むべきことを愛媛県消防協会がご提案できるように、情報収集・情報発信していきたいと思っておりますので、今後もご協力よろしくお願いたします。



- 点検・報告・整備・工事
 - 消防用設備等・特殊消防用設備等
 - 防火対象物点検・防災管理点検
 - 防火設備点検
 - 連結送水管の配管耐圧試験
 - 消防用ホース耐圧試験
- 消防用機器等の販売
 - 各種消火器
 - 住宅用火災警報器
 - その他各種防災用品
 - 消防ポンプ自動車

～高度な技術で安心をお届けする～



株式会社 四国消防

〒790-0952 松山市朝生田町1丁目7番21号
 電話 (089)934-4800
 F A X (089)934-5533
 E-mail : yons@ss4800.jp

最強コンビ



ポンプ操作法

トーハツ VCPROIII

キンバイスーパーランナーホース



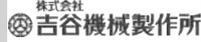
株式会社 ヤマダ



1910年創業



小型消防ポンプVFシリーズ
電子制御 燃料噴射装置



株式会社 吉谷機械製作所
消防ポンプ自動車
化学消防自動車



テイセン救助工作車
キンバイ消防ホース



ヤマトプロテック
粉末(ABC)消火器

〒790-0062 松山市南江戸1丁目2番26号
 TEL: (089) 947-2295 | FAX: (089) 945-3976 | www.yamada-pump.co.jp

東 予

地震倒壊した家屋の火災が山林に飛び火した想定

- (1) 訓練日時場所
実施日：令和 3 年11月28日（日）10時～12時
場 所：上島町佐島北側架橋付近
- (2) 参加消防団
（受援側）上島町消防団60名・車両 8 台
（応援側）今治市消防団 6 名・車両 1 台
上島町消防本部ほか14名

(3) 概 要
今治市大三島上浦方面隊がしまなみ海道経由で応援。
佐島の消火栓から両市町消防団で延べ50本のホースを中継。
道路を使用した訓練のためホースブリッジの使用や多くの監視員を配置し安全対策を講じたほか、現地指揮本部を、海域を挟んだ弓削港荷上場に置き、活動現場との無線通信の有効性を確認。
今春の岩城橋完成により、岩城島・生名島、佐島、弓削島間で地元消防団の迅速な移動が可能となり、さらに近隣市町の応援により島しょ部の消防体制が強化されました。



現地本部



今治市消防団応援隊



佐島放水



上島町消防団弓削方面隊

近隣市町消防団合同訓練



応援隊



現地指揮本部



集結車両



砥部町ホース延長

中 予

公園隣接の里山から発生した山林火災の延焼拡大を想定

- (1) 訓練日時場所
実施日：令和 3 年12月 5 日（日） 8 時～ 9 時30分
場 所：砥部町陶街道ゆとり公園
- (2) 参加消防団等
（受援側）砥部町消防団94名、車両 9 台
（応援側）伊予市消防団 8 名・車両 1 台、松山市消防団 5 名・車両 1 台、久万高原町消防団 6 名・車両 1 台、松前町消防団 5 名・車両 1 台、伊予消防砥部消防署20名・ポンプ車 3 台

(3) 概 要
砥部消防署・消防団が先着し放水、現地指揮所で受援を判断。
初動で砥部町がホース32本を中継後放水。伊予市及び松前町消防団がため池からホース27本を中継。久万高原町・松山市消防団は飛び火した第2火点に注水。
長距離のホース中継と伝統的な防ぎょ手法の「防火線」の設置で、消防活動の多様性を体得でき、技術が伝承されました。

南 予

果樹園から付近山林へ延焼後、火勢が近隣住宅に迫る想定

- (1) 訓練日時場所
実施日：令和 3 年10月24日（日）10時～12時
場 所：八幡浜市川之内 田浪地区
- (2) 参加消防団等
（受援側）八幡浜市消防団68名・車両4台
（応援側）伊方町消防団17名・車両 1 台、大洲市消防団17名・車両 2 台、内子町消防団14名・車両 1 台、八幡浜生コンクリート株式会社 1 名・ミキサー車 1 台、愛媛県消防防災航空隊 8 名・ヘリ 1 機・車両 1 台、八幡浜地区消防本部17名・車両 4 台
その他 消防バイク・ドローン・トイレカー

(3) 概 要
第 1 現場に地元、応援消防団を含め車両 2 台、可搬ポンプ 5 台でホース 26本を中継放水。再燃に備え警戒ホースを残し第 2 現場へ転戦、再度ホース延長し放水。
さらに住宅地への延焼阻止のためコンクリートミキサー車の給水を受け放水。伊方町消防団は、火災地点から離れた双岩スポーツパークで消防防災ヘリのバケツへ給水。ドローンやヘリの情報を活動に活かすなど、実践的な訓練となりました。



応援協定ミキサー車給水



県航空隊陸上部隊



現地指揮本部



内子町消防団応援隊

扱いやすさと
タフな空冷エンジンを採用

空冷式消防ポンプ
FT500
B-2級
FT450
B-3級



Fi(電子制御燃料噴射)に間接水冷ラジエータを搭載

水冷Fi式消防ポンプ
FF500ZXi
B-2級
FF450ZXi
B-3級



操法で活躍!

SHIBAURA

信頼と実績のキャブレタシリーズ
水冷式消防ポンプ
FK500 B-2級
FK450 B-3級
FK400 B-3級



シバウラ消防ポンプ愛媛県総代理店
(有)愛媛芝浦ポンプ商会
TEL.089-933-6355 FAX.089-933-9550
〒790-0911 松山市桑原2丁目3番19号